

2025年度（令和7年度）

日本なし病害虫防除暦

JA庄内たがわ橋引支所なし部会
※令和6年12月11日時点の登録内容にて作成

回数	散布時期	対象病害虫	薬剤名	倍率 (水100ℓ当たり薬量)		収穫前日数	回数	10a当 散布量	
1	発芽前	カイガラムシ類・ハダニ類	水 スプレーオイル 又は ハーベストオイル	50 倍 50 倍	98 ℓ 2 ℓ 2 ℓ	発芽前 発芽前	— —	200 ℓ	1. 削り取った病班及び被害枝は適切に処分する。 2. 切口のゆ合促進のため、せん定直後にトップジンMペースト（3回以内）を原液塗布する。 3. 赤星病防除のため、付近のかいすかいぶき、たまかいすかいぶき、はいびやくしん（そなれ）などを 伐採処分し、植栽しない。
2	発芽前	黒星病・赤星病・輪紋病	オーソサイド水和剤80	600 倍	166 g	3日前	9回以内	200 ℓ	4. 前年ハダニ類が多かった圃地は、必ずスプレーオイル等を散布する。 5. スプレーオイル又はハーベストオイルを散布した場合は、次回散布まで7日～10日間は間隔をあけること。 6. 展葉前の防除は、防除機の風圧を上げ過ぎないように注意する。
3	発芽7日後	黒星病・黒斑病 ハマキムシ類・クワコナカイガラムシ シンクイムシ類	オキシラン水和剤 サイアノックス水和剤	600 倍 1,000 倍	166 g 100 g	3日前 45日前 (無袋栽培)	9回以内 3回以内	200 ℓ	
黒 星 病 重 点 防 除 時 期	4 開花直前		展着剤(ハイテンパワー)	5,000 倍	20 ml			250 ℓ	
		黒斑病・輪紋病・黒星病・赤星病	スコア顆粒水和剤	2,000 倍	50 g	14日前	3回以内		
		黒星病・黒斑病・輪紋病・うどんこ病	ベルコート水和剤	1,500 倍	66 g	14日前	5回以内		
	5 交配直前	黒星病・心腐れ症(胴枯病菌)	トップジンM水和剤	1,500 倍	66 g	前日まで	6回以内	250 ℓ	
	6 落花直後	赤星病・うどんこ病・黒星病・輪紋病 黒斑病・炭疽病・褐色斑点病・赤星病 心腐れ症(胴枯病菌)・黒星病 ハマキムシ類、ハダニ類 シンクイムシ類、ナシチビガ アブラムシ類、カメムシ類	アンビルフロアブル チオノックフロアブル テルスター水和剤	1,000 倍 500 倍 1,000 倍	100 ml 200 ml 100 g	7日前 30日前 前日まで	3回以内 5回以内 2回以内	250 ℓ	1. 朝つゆが上がってから散布する。 2. 赤星病の発生が多い時は、バシタック水和剤75 1000倍（収穫60日前まで/5回以内）を散布する。 ※ 推奨葉面散布石灰資材例：ハイカルティ、ストビットⅡ 等
7 落花7日後	赤星病・黒星病・黒斑病 黒斑病・炭疽病・褐色斑点病・赤星病 心腐れ症(胴枯病菌)・黒星病	カナメフロアブル ㊟ チオノックフロアブル	4,000 倍 500 倍	25 ml 200 ml	前日まで 30日前	3回以内 5回以内	250 ℓ	1. 黒星病防除の重要な時期であるから適期を逃さず散布する。	
8 落花14日後	赤星病・疫病・褐色斑点病・黒星病 黒斑細菌病・黒斑病・炭疽病 心腐れ症(胴枯病菌)・輪紋病	デランフロアブル ㊟	1,000 倍	100 ml	60日前	4回以内	300 ℓ		
	アブラムシ類・カメムシ類・ハダニ類 シンクイムシ類・チャノキイロアザミウマ	アーデントフロアブル	2,000 倍	50 ml	前日まで	3回以内			
9 5月下旬	アブラムシ類・チャノキイロアザミウマ	ウララDF	2,000 倍	50 g	14日前	2回以内	300 ℓ		
	黒斑病・炭疽病・褐色斑点病・赤星病 心腐れ症(胴枯病菌)・黒星病	チオノックフロアブル	500 倍	200 ml	30日前	5回以内			
黒 星 病 重 点 防 除 時 期	10 6月上旬		展着剤(ハイテンパワー)	5,000 倍	20 ml			300 ℓ	
		黒斑病・黒星病・輪紋病・炭疽病 心腐れ症(胴枯病菌)・褐色斑点病	ファンタジスタ顆粒水和剤	3,000 倍	33 g	前日まで	3回以内		
		ケムシ類・シンクイムシ類 アブラムシ類・カメムシ類	スタークル顆粒水溶剤	2,000 倍	50 g	前日まで	3回以内		
11 6月中旬	黒星病・輪紋病・赤星病 ケムシ類・シンクイムシ類 ハマキムシ類・ヒメボクトウ	オーソサイド水和剤80 サムコルフロアブル10	600 倍 5,000 倍	166 g 20 g	3日前 前日まで	9回以内 3回以内	300 ℓ		
	ハダニ類	スターマイトフロアブル	2,000 倍	50 ml	前日まで	1回			
		展着剤(ハイテンパワー)	5,000 倍	20 ml					
12 6月下旬 (袋かけ後)	黒星病・黒斑病・輪紋病 炭疽病・うどんこ病 シンクイムシ類・カメムシ類 コナカイガラムシ類・(アブラムシ類)	ナリアWDG アクタラ顆粒水溶剤	2,000 倍 2,000 倍	50 g 50 g	前日まで 前日まで	3回以内 3回以内	300 ℓ		
	黒星病・黒斑病・輪紋病・うどんこ病	ベルコート水和剤	1,500 倍	66 g	14日前	5回以内			
	アブラムシ類・ハダニ類 シンクイムシ類	ロディー水和剤 ㊟	1,000 倍	100 g	前日まで	2回以内			
13 7月上旬	黒星病・黒斑病・輪紋病・うどんこ病 アブラムシ類・ハダニ類 シンクイムシ類	スコア顆粒水和剤 マイトコーネフロアブル	2,000 倍 1,000 倍	50 g 100 ml	14日前 前日まで	3回以内 1回	300 ℓ	1. 高温乾燥期に入り葉書をおこしやすいので、これ以降は夕方涼しくなってから薬剤散布する。	
14 7月中旬	黒斑病・輪紋病・黒星病・赤星病 ハダニ類	展着剤(ハイテンパワー)	5,000 倍	20 ml			300 ℓ		
	黒星病・黒斑病・輪紋病・うどんこ病	ベルコート水和剤	1,500 倍	66 g	14日前	5回以内			
	シンクイムシ類・アブラムシ類 カメムシ類・ケムシ類	ダントツ水溶剤	4,000 倍	25 g	前日まで	3回以内			
15 7月下旬		展着剤(ハイテンパワー)	5,000 倍	20 ml			300 ℓ		
	黒星病・黒斑病・輪紋病・うどんこ病	ベルコート水和剤	1,500 倍	66 g	14日前	5回以内			
	シンクイムシ類・アブラムシ類 カメムシ類・ケムシ類	ダントツ水溶剤	4,000 倍	25 g	前日まで	3回以内			
16 8月初旬		展着剤(ハイテンパワー)	5,000 倍	20 ml			400 ℓ		
	ハダニ類	コロマイト水和剤	2,000 倍	50 g	前日まで	1回			
	アザミウマ類・シンクイムシ類 ハマキムシ類	ディアナWDG	10,000 倍	10 g	前日まで	2回以内			
特別	8月初旬 ～中旬	うどんこ病・黒星病・(胴枯病) 心腐れ症(胴枯病菌)・輪紋病	スクレアフロアブル	2,000 倍	50 ml	前日まで	3回以内	300 ℓ	1. 黒星病の発生が懸念される場合は散布する。
17 8月中旬 (時期厳守)		展着剤(ハイテンパワー)	5,000 倍	20 ml			300 ℓ		
	ハマキムシ類、ハダニ類 シンクイムシ類、ナシチビガ アブラムシ類、カメムシ類	テルスター水和剤	1,000 倍	100 g	前日まで	2回以内			
散布の際は幸水の収穫時期に十分注意する。									
特別	8月中旬 ～9月上旬	ハダニ類 ニセナシサビダニ	ダニゲッターフロアブル	2,000 倍	50 ml	前日まで	1回	300 ℓ	1. ハダニ類の発生が多い圃地では散布する。
特別	9月上旬	シンクイムシ類・アブラムシ類 カメムシ類・ケムシ類	ダントツ水溶剤	2,000 倍	50 g	前日まで	3回以内	300 ℓ	1. シンクイムシ類対策。晩生品種（あきづきや南水など）がある場合は、 幸水と豊水の収穫の間にこの防除を実施する。 幸水などの収穫が終わった圃場にも散布する。（そちらにも対象害虫がいるため）
18 10月上旬 (収穫後)		展着剤(ハイテンパワー)	5,000 倍	20 ml			300 ℓ		
	黒星病・黒斑病	オキシラン水和剤	600 倍	166 g	3日前	9回以内			
特別	10月中旬 ～下旬	枝枯細菌病・黒星病・黒斑病 輪紋病	ドキリンフロアブル	1,000 倍	100 ml	3日前	9回以内	300 ℓ	1. 黒星病の発生が多い圃地では、翌年の伝染源になるりん片への感染を防ぐため、 収穫後から10月下旬まで、上記のオキシラン水和剤と合わせて2回の防除を実施する。

ラベルを必ず確認し、登録内容（倍率、収穫前日数、回数など）を遵守してください！また器具の洗浄は十分に行ってください。

暦にない薬剤を使う場合は必ず指導員に相談してください。

住宅地における農薬使用について

農薬使用者は住宅地において農薬の飛散防止措置を講ずるよう努めなければならないと規定されています。これを受けて、公共施設・住宅地に近接する場所における病害虫の防除については

極力、農薬散布以外の方法をとってください。ただし、やむを得ず農薬を使用しなければならない場合は注意事項（散布に関する事前の周囲への周知、飛散防止のための天候や時間帯に関する配慮）

等の遵守に努め住民の健康に被害を及ぼすことのないように最大限配慮するようにしてください。